

# 呉市からご協力のお願い

企業版ふるさと納税のご案内

呉駅周辺地域総合開発

公・民・学  
連 携

応援プロジェクト

公・民・学の連携で 未来を創る まちをリ・デザインする



ユース世代とロボットの出会い



まちなか自動運転



にぎわいの共創



地方都市最大級の駅前デッキ

**呉駅  
周辺地域  
総合開発  
とは？**

**このプロジェクトは  
呉駅周辺地域総合開発を  
応援いただくプロジェクトです。**

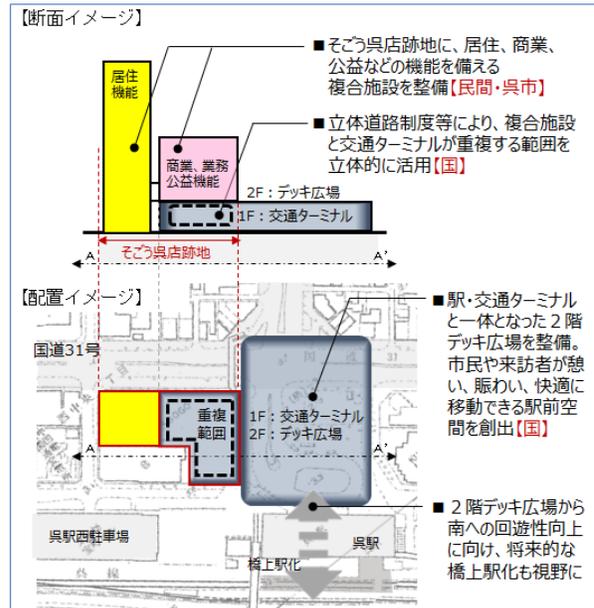
**呉駅周辺が生まれ変わります！**

市の玄関口である呉駅前では、平成25年に  
そごう百貨店が閉店し、長くそのままの状態と  
なっていました。

その後、令和2年に呉市が跡地財産を全て買  
い取り、更に令和3年には、次世代型総合交通  
拠点の整備を目指すバスタプロジェクトの一環  
として、一般国道31号呉駅交通ターミナル整備  
が国に事業採択されました。

まちなか居住とスマートシティの拠点を形成  
し、**呉駅周辺をリ・デザイン**していく**呉駅周辺  
地域総合開発**が、いままさに進行中です。

**国・市・民間の連携による新たな手法での駅前整備**



- ～ これまでの歩み ～
- H25. 1 そごう呉店閉店
  - H31. 3 呉駅周辺地域総合開発に関する懇談会からの提言
  - R 2. 4 呉駅周辺地域総合開発基本計画 策定
  - R 2. 10 呉市が財産を権利集約
  - R 3. 4 一般国道31号呉駅交通ターミナル整備 事業化
  - R 4. 11 そごう呉店跡地開発の実施事業者を選定
  - R 5. 4 財産譲渡契約発効 旧そごう呉店 解体着手
  - R 5. 6 一般国道31号呉駅交通ターミナル整備 ECI事業者選定
  - R 6. 8 後継建物 施工着手

全国的にも例をみない取組として、業界専門誌で記事を掲載いただいています。

一般財団法人交通経済研究所発行  
月刊「運輸と経済」R5.5月号

公益社団法人日本道路協会発行  
月刊「道路」R5.6月号

**本総合開発のロードマップ**

**第1期開発（5年後の目指す姿）**

- 総合交通結節点の形成
  - ・ バス・タクシー・自家用車と歩行者を分離した駅前広場の整備
- デッキ空間の創出と先進的な活用
  - ・ 交通ターミナルと一体となるデッキ広場の整備
  - ・ 賑わい創出につながる広場空間の利活用



- 呉駅の防災拠点機能の整備
  - ・ 災害時活動拠点の機能整備
  - ・ 災害時の広域的な交通ネットワーク拠点の機能整備

- アーバンデザインセンターによる「公・民・学」が連携したまちづくり
  - ・ アーバンデザインセンターの設立

**5～15年後の目指す姿**

- デッキ上での次世代モビリティの運行
  - ・ デッキ上に小型の次世代モビリティが乗り入れることで地域内におけるデッキ広場の拠点性を強化

**15年後～の目指す姿**

- 呉市全域における未来志向の「交通まちづくり」を軸としたスマートシティの実現
  - ・ 都市間アクセス、市内移動の両面で、多様なニーズに応える次世代モビリティを導入



- 呉駅の南北一体の玄関口の形成
  - ・ JR呉駅の橋上駅舎に向けた検討着手

- 複合施設の整備による賑わいとまちなか居住の推進
  - ・ 駅前の賑わいを創出する複合施設の整備



地方都市における交通まちづくりとスマートシティ、まちなか居住の拠点形成に向けた新たなチャレンジとして、全国で注目いただいています。  
(R4以降33団体の視察を受入)



**呉駅周辺地域総合開発  
公・民・学  
連携  
応援プロジェクト**

寄附の  
使いみち  
は？

## 公・民・学連携による 地域課題の解決と 新たなチャレンジの 活動資金に充ててまいります。

本総合開発では、第1期開発の整備後もエリア課題の解決に取り組んでいくため、公・民・学の連携組織「アーバンデザインセンター（UDC）」を組成し、その活動拠点を呉駅前を整備することとしています。

そのための助走の場として、令和5年5月に、「アーバンデザインセンター準備室」を開設いたしました。

これらの活動拠点を発信源に、アーバンデザインセンターでは、右ページに掲載している先進的な取組にチャレンジし続けていくこととしています。

皆様からいただいた御寄附は、こうした公・民・学連携の活動資金に充ててまいります。

### 「公・民・学連携まちづくり」の活動拠点の整備に

#### ～ アーバンデザインセンター組成に向けての助走～ アーバンデザインセンター準備室の整備

新しくできる複合建物内にアーバンデザインセンターの活動拠点が整備されるまでの間、助走の場として準備室を整備しました。

公民学が連携した社会実験や、高校生・大学生などユース世代の新たな居場所として活用しており、引き続き機能強化を目指しています。



#### ～ 公・民・学連携の活動拠点～ アーバンデザインセンターの整備

本総合開発の第1期開発の整備と併せ、公・民・学連携の本格的な活動拠点を整備する予定です。

新たなチャレンジを目指す全国の仲間が集い輪を広げ、創造するための空間です。

災害時には帰宅困難者の受入を支援できる各種機能も導入します。



### 未来に向けたチャレンジへの活動資金に

#### ～ 時代を変革する先駆的サービスの実装～ 交通まちづくりとスマートシティの実現に向けた交通社会実験

自動運転を始めとする次世代モビリティやMaaSの実装に向けて、令和元年度から継続的に次世代モビリティ走行実験を重ね、令和7年度も交通社会実験を実施予定です。



#### ～ 空間活用の新しいカタチ～ 公共空間の有効活用に向けた社会実験

ほこみち制度などの新しい制度を最大限に活用し、呉駅前の2階デッキや周辺の公共空間で賑わいを創造することで、呉駅を起点とした周辺の回遊性を向上させていくことを目指しています。



まちあるきデジタルスタンブリー R6

キッチンカーと公共空間を活用した実証実験 R6

#### ～ スマートシティの発信拠点の形成～ 先進先端技術を活用した社会実験

AIやIoTセンサー等の新技術の導入や官民データの利活用により、地域が抱えている課題の解決を目指します。



AIカメラの導入

案内ロボットを活用した実験

呉駅を起点としたエリアデザインや、先進先端技術の活用など、公民学連携による新たなチャレンジの活動資金に充ててまいります。



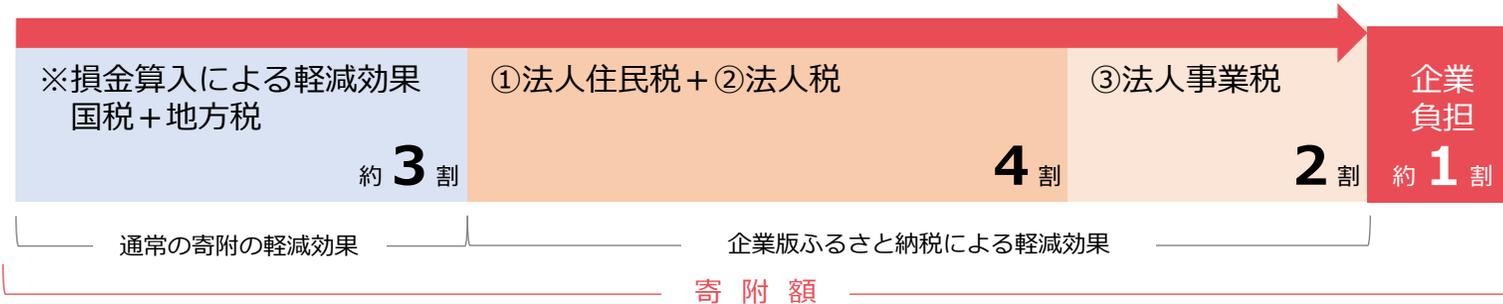
呉駅周辺地域総合開発  
公・民・学  
連携  
応援プロジェクト



**企業版  
ふるさと納税  
の仕組み**

企業版ふるさと納税は、国が認定した地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して企業からご寄附をいただいた場合に、法人関係税から税額控除する仕組みです。通常の損金算入による軽減効果（寄附額の約3割）と合わせ、最大で寄附額の約9割が軽減され、**実質的な企業の負担が約1割**まで圧縮されます。

**税の軽減効果が最大約 9 割！**



区分	※損金算入	企業が地方公共団体に寄附した場合は、その金額が損金算入されるため、寄附額の約3割（法人実効税率）相当額の税の軽減効果があります。
	①法人住民税	寄附額の4割を税額控除（法人住民税法人税割額の20%が上限）
	②法人税	法人住民税で4割に達しない場合、その残額を税額控除。ただし、寄附額の1割を限度（法人税額の5%が上限）
	③法人事業税	寄附額の2割を税額控除。（法人事業税額の20%が上限）
<b>&lt;留意事項&gt;</b>		

- ・ 10万円以上の寄附が対象です。
- ・ 寄附を行うことの代償として経済的な利益を受け取ることは禁止されています。
- ・ 本社が所在する地方公共団体への寄附については、本制度の対象となりません。（呉市内に本社が所在する企業が本市に寄附する場合は対象となりません。）

ぜひ、呉駅周辺総合開発 公・民・学連携応援プロジェクトにご支援をお願いします。

連絡先 呉市 都市部 呉駅周辺事業推進室  
☎737-8501 広島県呉市中央4丁目1番6号  
☎ 0823-25-3558    ✉ kureeki@city.kure.lg.jp



# 公民学連携による取組 ～ アーバンデザインセンター（UDC）の組成に向けて ～

## 1 UDCの組成に向けた考え方

### UDCとは

「UDCイニシアチブよりHP」より

UDCは、アーバンデザインセンター（Urban Design Center）の略称で、2006年11月の柏の葉アーバンデザインセンター（UDCK）創設時に構想された、課題解決型=未来創造型まちづくりのための公・民・学連携のプラットフォームです。

### UDCの目指す公民学連携スキーム

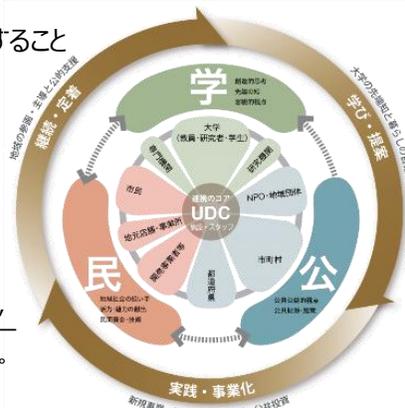
東京大学 出口教授 「UDCKセンター長の挨拶」より

地域社会に必要な公的サービスを担う「公共」、市民活動や経済活動を通じて地域の魅力と活力の向上を担う「民間」、専門知識や技術を基に先進的な活動を担う「大学」が日常的・多面的に連携し、まちの未来を描き実践していくエンジンとなる。

### UDCアジェンダ

「UDCイニシアチブよりHP」より

- ①公・民・学連携の拠点となること
- ②明確な目標と戦略を打立て実行すること
- ③常に具体のフィールドで活動すること
- ④都市空間のデザインを担う専門家が主導すること
- ⑤新しいアイデアに挑戦し続けること
- ⑥一人一人が活動をエンジョイすること
- ⑦最新の情報を広く公開し、共有すること
- ⑧UDCネットワークを全国へそして世界へ



※ 「アーバンデザインセンター」は登録商標であり、名称・呼称の使用にはアーバンデザインセンターネットワークへの加盟申請が必要となります。

### バスタプロジェクトのコンセプト

「交通拠点の機能強化に関する計画ガイドラインP2-6」より

バスタプロジェクトは、

- ・ 道路管理者が主体となって集約型公共交通ターミナルの整備・マネジメントを行い、地域における課題を解決するとともに

- ・ **みち・えき・まちが一体となった新たな空間を官民連携により創出**

して、道路ネットワークの機能を最大限発現し、地域の活性化や災害対応の強化、生産性の向上の実現を図る**未来志向の新たな取組**

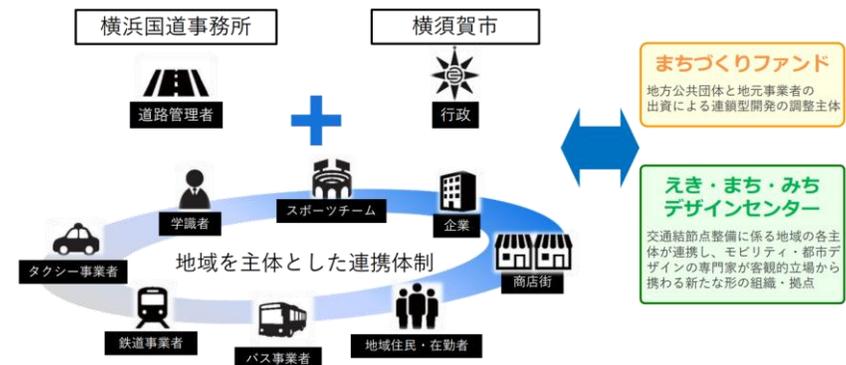
### UDCとバスタプロジェクト

「交通拠点の機能強化に関する計画ガイドラインP4-31」より

- ・ 交通拠点の管理運営は、エリアマネジメント、モビリティマネジメントの要素を含んでおり、バス・タクシー等の運営実態に精通している必要がある。

また、まちづくりの観点からは、**産官学が連携・調整を行うアーバンデザインセンターの活用も考えられる。**

○追浜（横須賀市）



## 呉駅周辺地域総合開発基本計画（抜粋）

### ビジョン5 「公・民・学」一体で課題を解決し続けるまちづくり

アーバンデザインセンターを設立し、「公・民・学」の連携により、中長期的にまちのビジョンを育て、更新し、提案・実践していく。

#### ターゲットとなる課題

##### 【市全域】

- ◆ 持続可能で利便性の高い交通ネットワークの形成
- ◆ 中心市街地の賑わいと交流の促進

##### 【呉駅周辺地域】

- ◆ 広場や市民の活動拠点が無い

#### ① アーバンデザインセンターの設立

現在の「KUREスマートシティコンソーシアム」における活動を母体に、「公・民・学」が連携してまちづくりの課題を解決していく組織として、アーバンデザインセンターを設立します。

#### ② 市民参加による継続的なまちづくりの推進

アーバンデザインセンターでは、市民が集う広場空間のあり方やマネジメント、更には、自動運転を見据えた交通社会実験などの新たな取組について、市民や民間企業の意見を取り入れながら、継続的に考え、取り組んでいきます。

#### 【想定されるアーバンデザインセンターの活動の例】

多用途に使える魅力的な広場空間の創造

～ 公共空間の有効活用に向けた社会実験 ～



時代を変革する先駆的サービスの創造

～ 交通まちづくりとスマートシティの実現に向けた社会実験 ～



公・民・学の連携による新たな価値の創造

～ 呉市版「リビングラボ」の実施 ～



## （参考メモ）UDCの類型

### ■ UDCの起源、いわば別格の存在「柏の葉アーバンデザインセンター」

- 対象エリアは、三井不動産の所有地、東京大学（柏の葉キャンパス）等が位置し、三井不動産が、自己所有地の価値向上に向けて積極的に関与し、資金投入している点が大きな特徴



### ■ そのほか、取組内容には軽重あり

- 常勤職員と常設施設を兼ね備える団体は、24団体中12団体
- 現状の呉市の官民連携取組は、常勤職員・常設施設のないUDCの活動内容に既に近い水準にあるが、活動拠点と専属スタッフを備えることで、活動水準の更なる向上を目指す。

### ■ 取組類型や組織構成は多種多様。「地域主導型」もある。

- 「交通」、「ICT」、「エネルギー」、「防災」、「公共空間活用」など本総合開発と親和性の高い取組多数
- 地元商店街や企業など、市民・民間事業者が主体となって実績を上げている例もある。
- 空き家活用などを主なテーマとして活動する例も増加中

### 【呉市が志向するUDCのイメージ】

- 柏の葉UDCに比肩することは難しいが、地方都市では有数かつチャレンジングな公（国・市）・民・学連携の実現を目指す。

【注】UDCをターミナルの管理主体として期待する意見もあるが、UDCは、あくまでも官民連携のハブとしての役割を果たしていくものであり。UDCがターミナルの管理主体とはなり得ないことには留意。

～ 呉駅周辺地域を起点とした社会課題の解決・エリア価値の向上 ～

### 呉駅周辺地域のエリアデザイン

- ・ 現在、呉市において、2階デッキでの賑わい創出に向けたニーズ調査やワークショップを実施中
- ・ 2階デッキにおける賑わいの誘導・エリア価値の向上が、UDCの主要な取組事項となることを想定
- ・ そのほか、2階デッキにおける緑の創出、暑さ対策などが、デッキ供用開始後も継続的な取組課題となることを想定



### 次世代モビリティ導入に向けた社会実験

- ・ すでに当コンソーシアムを起点に計7回の交通社会実験を実施
- ・ R7年度も交通社会実験を実施予定
- ・ 車両技術はかなり進展しているが、道路支援技術の多様化・進展が今後の世界的な課題とみられる状況
- ・ 「外出機会の創出」などエリアデザインとの関係も整理しつつ、将来的にはUDC主体での交通社会実験の実施を想定



### 平成30年7月豪雨災害の記憶継承

- ・ 呉市において、平成30年7月豪雨災害の記憶継承コンテンツを作成（呉市復興総室・東大 羽藤研究室）
- ・ 将来的には、国の待合施設あるいはUDC内にサインージを設置して情報発信する予定
- ・ 供用開始後も、UDC主体で効果的な情報発信を継続・強化していく想定



### ワークショップ・セミナー・会議の開催

- ・ すでに、呉市ほか関係者を起点にワークショップやセミナー、勉強会等の実績を積み重ねている。
- ・ 引き続き、効果的な周知、更なる官民連携につなげる仕組み化等について試行錯誤中
- ・ 将来的には、UDC主催で全国会議を開催できる求心力を持つことを目指す。



### 3 現在の活動母体「KUREスマートシティコンソーシアム」

令和元年度 国土交通省「スマートシティモデル事業」の応募に際し、呉市から広島大学・呉工業高等専門学校に協力を要請し、コンソーシアムを組成。重点事業化促進プロジェクトに採択。

広島県呉市  
報道発表資料



令和元年6月3日  
呉駅周辺事業推進室  
☎0823-25-3227

スマートシティモデル事業に係る「重点事業化促進プロジェクト」に選定されました。

呉駅周辺地域総合開発の実現に向け、呉市を中心とした「KUREスマートシティコンソーシアム」が国（国土交通省）に提案していた、スマートシティモデル事業が「重点事業化促進プロジェクト」に選定されました。

これにより国（国土交通省）から、専門家の派遣や計画策定支援等の**重点的な支援**を受けることが可能となりました。

今後は、呉駅周辺地域総合開発の一環として、次世代モビリティ（BRT・自動運転等）や MaaS などの新しい技術を取り入れた次世代型の総合交通拠点として再整備するなど、スマートシティの実現を目指していきます。

詳細は、国土交通省のホームページをご覧ください。

<http://www.mlit.go.jp/common/001291866.pdf>

#### 【提案内容】

○コンソーシアム名：KUREスマートシティコンソーシアム  
（構成団体：呉市、広島大学、呉工業高等専門学校）

#### ○都市・地域の課題解決の取組

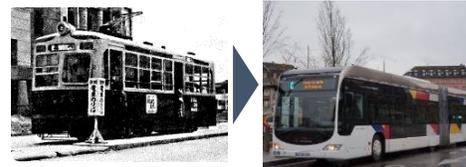
- ・西日本豪雨災害を受け、地域における公共交通基盤の維持と防災機能の強化等を進める。
- ・災害時等には電源供給が可能となる燃料電池バスの活用等により、新たなモビリティの導入など呉駅の総合交通拠点としての機能強化等を図る。

国の補正予算により、国がコンソーシアムの取組を重点支援。  
国からの直接業務委託により、コンソーシアムの活動指針となる「スマートシティ実行計画」を令和3年4月に策定

### 「KUREスマートシティ実行計画」の概要

#### ① 次世代路面電車の実装に向けた道路環境の整備

次世代交通の形態として、自動運転車両がフレキシブルに接続・分離する自動運転技術による次世代路面電車を提案。必要な道路環境整備を検討



道路環境整備・走行実験  
（呉市）

- 【R 元】燃料電池バス
- 【R 2】自動運転バス
- 【R3-4】高輝度区画線  
磁気マカ 整備
- 【R4-6】自動運転EVバス

#### ② 斜面市街地における交通手段の確保

斜面市街地に住む子どもから高齢者までのファースト/ラストマイルの移動手段として小型自動運転車両の導入を検討



グリーンローモビリティ走行実験  
（広島大学  
呉工業高等専門学校）

- 【R 2】中心市街地
- 【R 3】天応地区

#### ③ 都市データプラットフォームの構築

society5.0の実現に向け、高速通信網を基盤にあらゆるサービスを高度化する都市OSの検討に着手



データプラットフォームくれ  
（呉市）

- 【R4】構築
- 【R5】運用開始

#### ④ 官民連携プラットフォームの構築

アンマッチな公共事業を根絶するため、事業化の前段階でゆるやかな官民連携を図る官民連携プラットフォームを検討



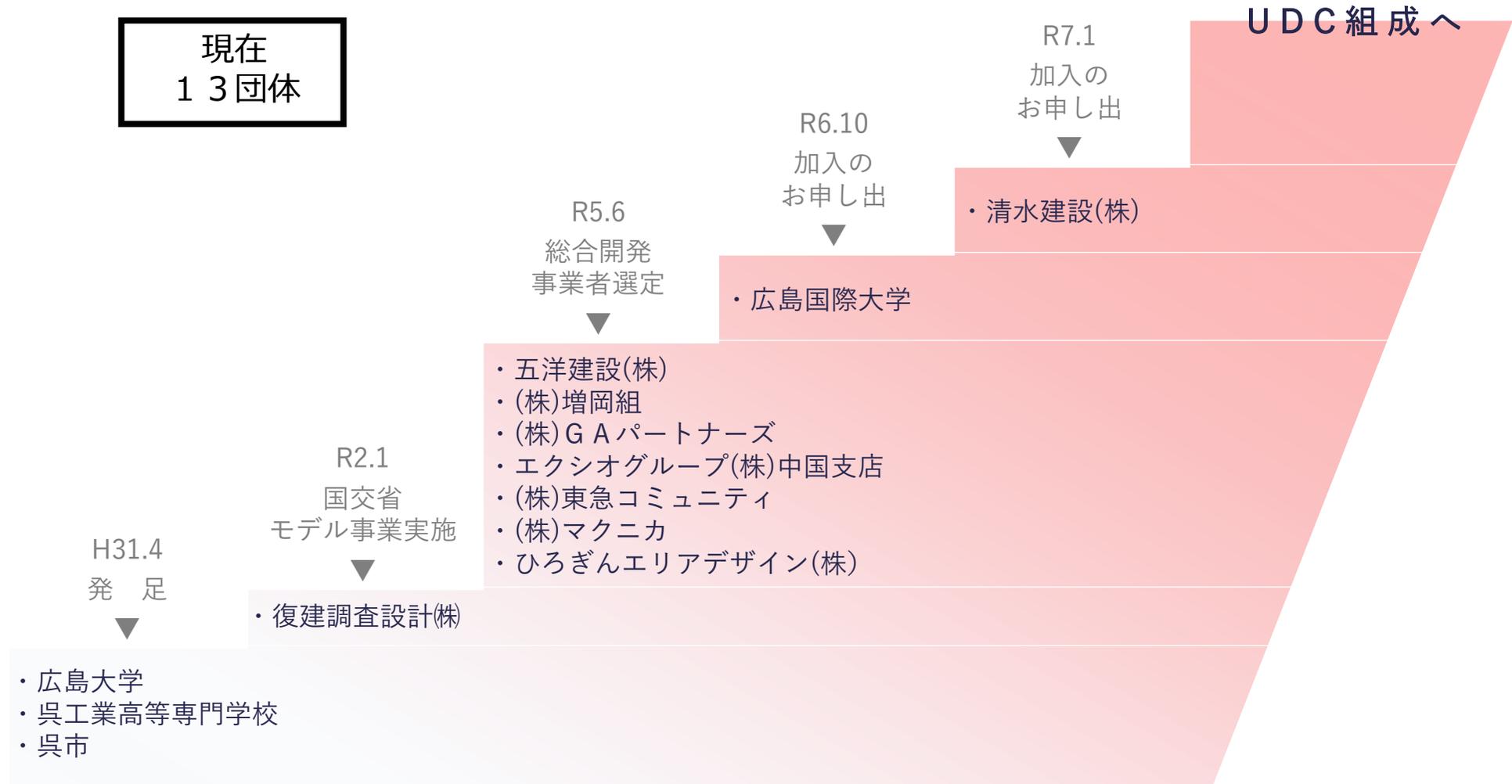
スマートチャレンジくれから事業化

スマートチャレンジくれ  
（呉市）

- 【R3】募集
- ※ 民間企業から約300件の提案

#### 4 推進体制

総合開発に関する検討の進展に併せ、公・民・学連携の推進体制を加速度的に強化しています。



# 5 UDC ロードマップ

※今後、UDC組成までコンソ内で継続的に御意見いただくための叩き台です。



## 6 これまでの主な取組

(そのほか全取組はパンフレット「公民学連携まちづくり」に掲載)

### (1) 次世代モビリティの導入に向けた交通社会実験

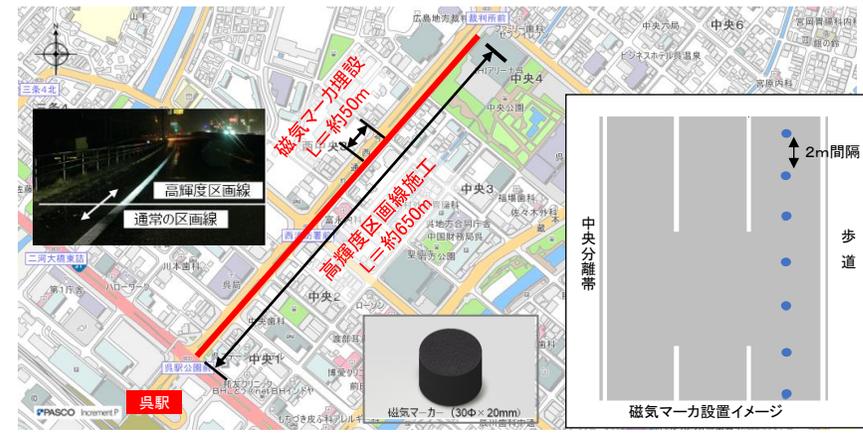
#### R元年度 燃料電池バス「SORA」走行実験 (令和元年11月~12月実施)

- 実施日: 11月30日, 12月1日, 7日, 8日
- 乗車人数: 800人 (4日間合計)
- 運行時間: 11時~15時
- 便数: 4便/日
- 運賃: 無料



トヨタ自動車製「SORA」  
れんがどおり通行の様子

#### R3・4年度 自動運行補助施設の整備 (令和3年度~4年度上半期 実施)



磁気マーカ (30φ×20mm)

磁気マーカ設置イメージ

#### R2年度 自動運転バス走行実験 (令和3年1月実施)

- 実施日: 1月22日~24日
- 乗車人数: 260人 (3日間合計)
- 運行時間: 10時~16時半
- 便数: 10便/日
- 運賃: 無料



先進モビリティ所有「ポンチヨ」  
実験の様子

#### R4年度 自動運転バス走行実験 (令和4年12月実施)

- 実施日: 12月10日~13日 (試乗は10日・11日)
- 乗車人数: 140人 (2日間合計)
- 運行時間: 10時~16時半
- 便数: 7便/日
- 自動運行補助施設 (磁気マーカ等) の検証
- 国土交通省と連携し、交差点での右折支援、バス停出発支援を実施



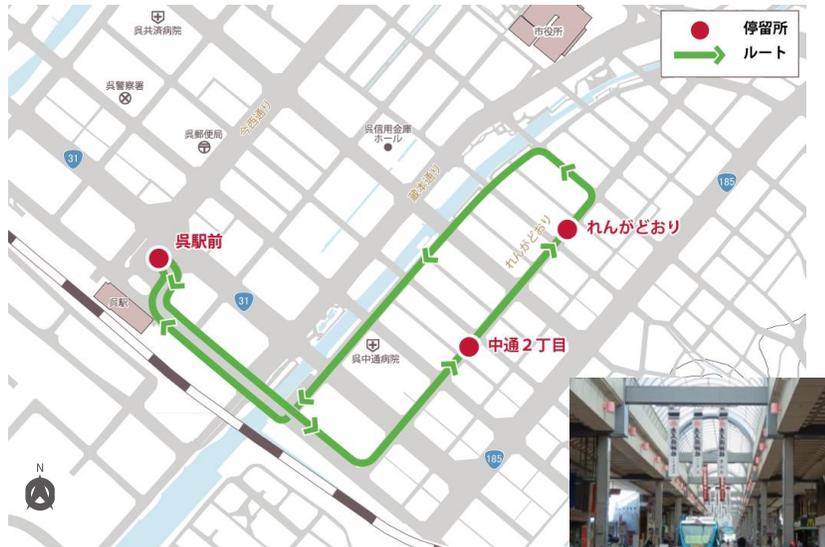
先進モビリティ所有「BYD J6」  
(EVバス)

## R5年度

### 自動運転バス走行実験 (令和6年1月実施)

- 小型・低速で運転席がないタイプの自動運転車両で商店街のアーケード内を走行するまちなか自動運転を実証
- 呉市の観光ナビアプリ「マイクレ」との連携を実証

■実施日：1/18(木)～1/21(日)  
 ■乗車人数：約200名(4日間合計)  
 ■運行時間：11時～16時  
 ■便数：6便/日  
 ■距離：約2km  
 ■運賃：無料



【実験車両】

NAVYA ARMA (自動運転シャトルバス)  
 全長×全幅×全高：4,750mm×2,110mm×2,650mm  
 乗車定員：15人 航続距離：100km 速度：18km/h

## R6年度

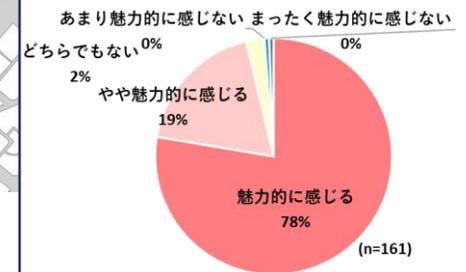
### 自動運転バス走行実験 (令和6年11月実施)

- 令和5年度の実験に加えて川沿いの公園で実施した「まちなかウォークアブル実証実験」と連携して実施

■実施日：11/4(月)～11/10(日)  
 ■乗車人数：約250名(7日間合計)  
 ■運行時間：11時～16時  
 ■便数：7便/日  
 ■距離：約1.7km  
 ■運賃：無料



#### 問：自動運転車両が走るまちは魅力的か。



【実験車両】

NAVYA EVO (自動運転シャトルバス)  
 全長×全幅×全高：4,780mm×2,110mm×2,670mm  
 乗車定員：15人 航続距離：100km 速度：18km/h

## (2) グリーンスローモビリティ実証実験

斜面市街地や被災地における交通課題の解決に向けて、広島大学・呉工業高等専門学校において、実証実験を実施していただきました。（呉市後援事業）

### 【R2】 グリーンスローモビリティ実証実験【中央地区】

- 目的：清水地区、和庄地区の斜面地と本通り・呉駅間を走行させ、グリスロなどの新たな移動手段の活用可能性を検証
- 実施日：令和2年11月28日～12月11日（2週間）
- 乗車人数：191人
- 運行時間：8時～16時半
- 便数：5便/日
- 運賃：無料



実験期間  
 — Aルート：11/28(土)～12/4(金)  
 — Bルート：12/5(土)～12/11(金)



斜面地の走行状況



れんがどおりの走行状況

### 【R3】 グリーンスローモビリティ実証実験【天応地区】

- 目的：新たなモビリティによる災害時を想定した交通結節点機能の導入、現地情報の受発信を担うオペレーションセンター機能のあり方を検証
- 実施日：令和3年10月6日～10月15日（10日間）
- 乗車人数：284人
- 運行時間：9時～16時半
- 便数：5便～8便
- 運賃：無料



実験期間  
 令和3年10月6日(水)  
 ～10月15日(土)



狭隘な道路の走行状況



オペレーションセンター

## 新しくできる呉駅交通ターミナルの2階デッキで 新たな賑わいを創造してみませんか

呉駅周辺地域総合開発（第1期）  
2階デッキでの賑わい創出に向けた対話型ニーズ調査を実施します



- |      |  |
|------|--|
| 調査概要 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「呉駅前2階デッキでの賑わいの創出」をテーマに、事前にご用意した資料や設問を基に参加者の方と個別対話を行い、ご意見やご要望を伺います。</li> <li>● 対話は1回あたり30分から1時間程度で、1～2回程度を想定しています。</li> </ul> |
| 参加資格 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 法人・団体・個人を問いません</li> <li>● 呉駅前2階デッキで、出店やイベント等により、賑わいを創出する意欲のある方</li> <li>● そのほか、周辺での開発や賑わいの創出に意欲のある方</li> </ul>                |
| 申込手続 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 呉市ホームページ（右QRコード）から「エントリー票」をダウンロードし必要事項を記入の上、下記問い合わせ先に電子メールで提出してください。</li> </ul>   |

### R5.4 募集開始

#### エントリー 随時受付中

初期エントリーとしては7/9を締切としていますが、その後も随時エントリーを受け付けています

#### 参加無料

詳しくはこのQRコードから  
呉市ホームページへ



- エントリー票
  - 詳細な募集要項
- がダウンロードできます

### 調査の流れ



### この調査の目的・参画される皆様のメリット

#### 吸収する



呉市は、皆様のアイデアを吸収し、活かしながら、デッキに賑わいをもたらす手法や条件の検討を進めることができます。

#### 知る



参加者の皆様は、対話を通じ、本総合開発やデッキ活用、周辺開発に関する理解を深め、方向性を知ることが出来ます。

#### ひらめく



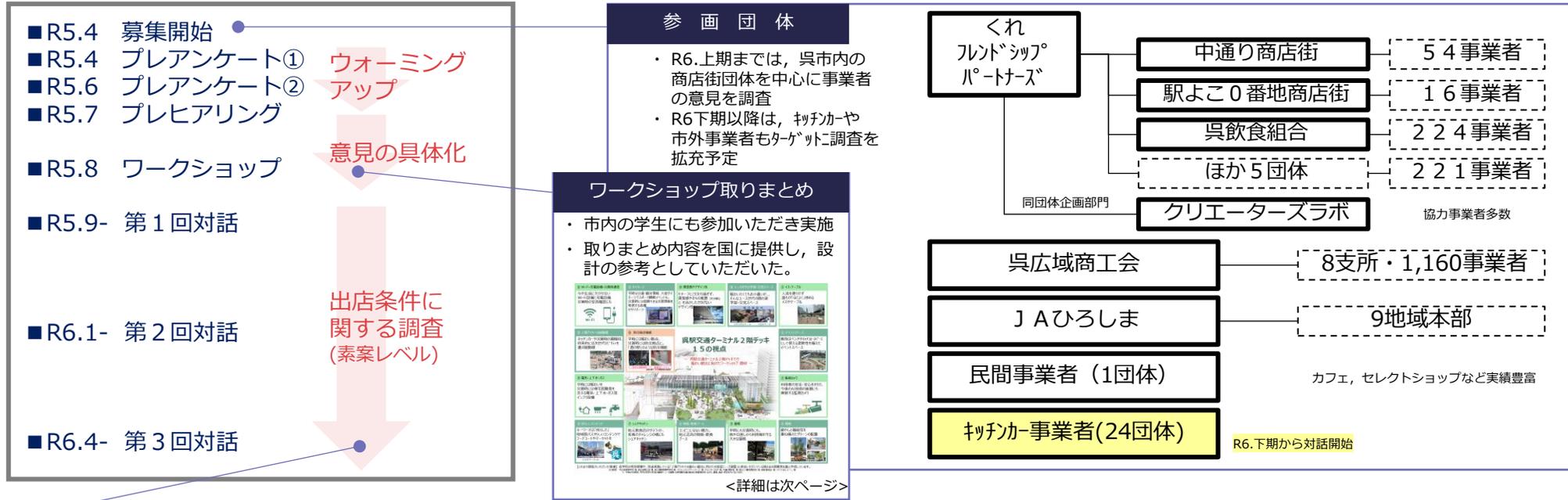
対話を通じ、新しいアイデアが生まれるかもしれません。

#### 反映される (かもしれない)



あなたのアイデアが、実際の公募に反映されているかもしれません。

(参考) 対話型ニーズ調査 これまでの調査状況



**出店条件に関する調査状況**

【第1回対話】仮の前提条件を設定 / 1団体当たり2回程度のフリートーク  
 【第2回対話】前提条件を精緻化 / 出店条件に関する設問への回答  
 【第3回対話】前提条件を精緻化 / 出店条件に関する設問への回答

※ 団体の会合日程・時間の関係上、団体ごとのヒアリング項目に若干の異同があります。

- デッキ上での常態的な出店可能性について  
 R5年度のヒアリング対象者は現に本格的な店舗営業をされている皆さんであり、出店可能性については積極的意見はいただけないものと想定していたが、想定以上の好感触を得た。  
 < 将来的な出店可能性 (第2回対話) > ・出店の検討ができる 63% ・シェアキッチンなどであれば検討できる 25%  
 < 今時点の出店可能性 (第3回対話) > ・是非出店したい 12% ・出店するかも知れない 39%
- 出店する場合の想定規模・想定賃料月額について 【調査の前提条件】電気・給排水あり、ガスなし、夜間営業・酒類提供可、デッキ上へのイス・ベンチ等設置可  
 実際に営業を行っているプロの皆さんから相当信頼性の高い意見をいただき、出店条件として「比較的小規模な5坪程度のブース」・「賃料月額 坪単価0.8~1万円」が成立し得る条件であるという感触を得た。  
 < 出店したい条件 (第3回対話) > ※当設問はプレアンケート②から実施しているが、徐々に設問を精緻化している。  
 ・7.5坪/6万円(坪単価0.93万円) 24% ・5坪/5万円(坪単価1万円) 42% ・3.2坪/4万円(坪単価0.8万円) 39% ・2.8坪/3.5万円(坪単価0.8万円) 18%  
 ※第2回調査では「4.2坪/5万円(坪単価1.19万円)」に対し40%の方から「適正」との回答をいただいております、ほぼ回答傾向が固定された。

【今後の調査の方向性】 ~ 整備概要の公表を契機に調査は次のステップへ ~

- ・ 公表した整備概要を題材に、2階デッキでの賑わい形成に向けて調査を更に精緻化・具体化
- ・ キッチンカ-事業者や市外事業者の皆さまにも調査対象を拡充
- ・ 調査結果を基に、2階デッキの管理事業者(国が選定予定)と呉市の官民連携も視野に

## (4) 2階デッキでの賑わい創出に向けたワークショップ

【呉駅前空間ビジョン2023】各学校の特別授業や、別途実施している「2階デッキでの賑わい創出に向けた対話型ニーズ調査」に参加いただいている皆さまの御意見を基に①～⑮の視点をまとめました。  
 (50首順) 市立呉高等学校 様、呉広域商工会 様、呉工業高等専門学校 様、くれフレンドシップパートナーズ 様、クリエイターズラボ 様、中通り商店街 様、駅よこ番地商店街 様、呉飲食組合 様ほか  
 【2024 ローリング版】上記の①～⑮の視点に加え、その後の検討で課題となった視点※1～※4の視点を、事務局で追加しました。

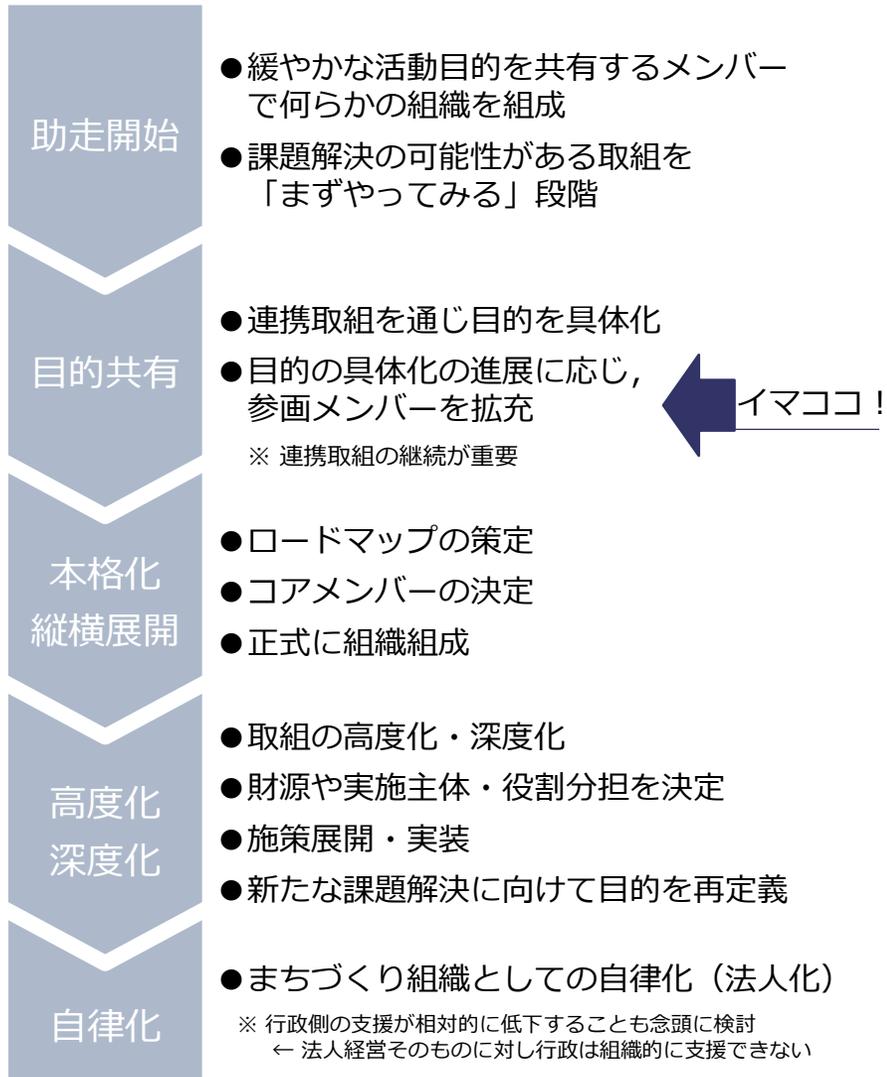
<p>※1 備蓄・資機材スペース</p> <p>発災時の備蓄(備蓄拠点から配布された後の2次備蓄)や、イベント時の資機材の保管のため、呉市所有の未活用建物内スペースを確保 (呉駅西中央ビル5階)</p>	<p>⑪ Wi-Fi・充電設備・災害時通信</p> <p>今や生活に欠かせないWi-Fi設備と充電設備 災害時の安否確認にも</p> 	<p>⑫ サイネージ</p> <p>平時は交通・観光情報、大型サイネージでスポーツ観戦イベントも。 災害時には信頼できる災害情報を発信する各種のサイネージ</p> 	<p>⑬ 清潔感やデザイン性</p> <p>モチーフにこだわり過ぎず、清潔感やまちの風景(灰が峰等)を活かしたさりげないデザイン性</p> 	<p>⑭ ユース代の学習・交流スペース</p> <p>賑わいたくてもお小遣いが... そんなユース代の隠れ家 学習・交流スペース</p> <p>複合施設内</p> 	<p>① イス・テーブル</p> <p>人流を滞らせず 誰もが「ほどよく」休める イスやテーブル</p> 
<p>※2 建物OS</p> <p>内閣府はSociety5.0の実現に向けて「都市OS」構想を提唱。 これを受けて、くれみらいは複合建物に建物OSを実装。 ターミナル側との連携が課題で検討中</p>	<p>⑩ 2階デッキへの縦動線</p> <p>キッチンカーや災害時の資機材、将来的には次世代EVリフトを運ぶ縦動線</p> 	<p>⑮ 防災拠点機能</p> <p>平時には賑わい拠点、災害時には防災拠点に。「道の駅」のような防災機能</p> 	<p><b>呉駅前空間ビジョン2023</b> ～みんなで語る呉駅前デッキの未来像～ « 2024 ローリング版 »</p> 		<p>② イベントスペース</p> <p>普段はベンチやキッチンカースペースとして使える柔軟性を備えたイベントスペース</p> 
<p>※3 受動喫煙防止対策</p> <p>国・呉市・民間事業者において喫煙所は設けない方針。 (設置スペースもない。) 供用開始後のルール遵守や周辺も含めた受動喫煙防止対策に工夫が必要</p>	<p>⑨ 電気・上下水・ガス</p> <p>平時には賑わいを 災害時には帰宅困難者を支える電気・上下水等のインフラ設備(ガスは持込想定)</p> 	<p>③ 監視カメラ</p> <p>利用者の安全・安心をまもり、今後のAI技術の進展にも貢献する監視カメラ</p> 			
<p>※4 暑さ対策</p> <p>メインとなる大きな庇を始め、雨や日差しから利用者を守る9つの庇を整備。 ただし、デッキ全体の暑さ対策に工夫が必要</p>	<p>⑧ 呉らしいコンテンツ</p> <p>キーワードは「呉らしさ」 地域版バスらしいコンテンツでフードコートやマーケットを</p> 	<p>⑦ シェアキッチン</p> <p>地元飲食店のサテライト、若者のチャレンジの場にもシェアキッチン</p> 	<p>⑥ 物販・飲食ブース</p> <p>コンビニにはない魅力。 地元志向の物販・飲食ブース</p> 	<p>⑤ 屋根</p> <p>平時にも災害時にも。 雨や日差しから利用者を守る大きな屋根</p> 	<p>④ 植樹</p> <p>癒やしと機能性を兼ね備えたグリーン配置</p> 

【凡例】

- ・ 実装が決定した機能
- ・ 実装検討中の機能
- ・ 管理運営者の創意工夫やUDCによる官民連携テーマとなる機能

## 7 公・民・学連携を推進する上での視点

### 視点1 継続的な取組を体制強化や取組深化につなげていく



### 視点2 単体ではできない課題解決を連携により実現していく

